



協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録

協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録



テーマ：「地域で子どもを生き活きと育てられるまち豊山町」

8月1日【第1日目】 豊山町の魅力発信・PR戦略について考える

10:00

ステップ1：はじめに

- 5分 ・総務部長あいさつ
- 10分 ・今回の町民討議会議の全体の構成と進め方を説明します。
- 15分 ・昨年までの町民討議会議の成果についてご紹介します。

【第1回討議】科学・技術で元気になる子ども達

10:30

ステップ2：【科学・技術で元気になる子ども達】について考えましょう

- 20分 ・[情報提供]：「三菱航空機」の方からMR Jの開発の概要と今後の夢について話して頂きます。
- 45分 ・[討議]：科学・技術の世界を通して地域で子どもを育てるという視点から、ご自身の経験や情報提供者のお話をヒントに3つのプロジェクト提案を考えて下さい。三菱航空機さんとの連携を前提にした提案を一つは入れて下さい。
- 25分 ・[発表]：各グループの提案を1グループ2～3分で発表してもらいます。
個人でシール投票してもらいます。(一人5票)

【第1回討議】科学・技術で元気になる子ども達の結果

提案プロジェクトの項目[個別の票数]	類似票数
1)本格的な科学館[10] 2)航空館 Boon の活用 (ボランティアの方※OBの方、専門の方の解説)[9] 3)町内の施設・工場が連携した「航空博物館」の形成[8] 4)キッズニア豊山[5] 5)新しい施設(既存のものも含め)その利用目的を分かりやすくする[2]	34
1)豊山町の園、小、中学校で、校外学習として、見学、体験をさせてもらう[7] 2)三菱と連携して、工場見学をPRする。[6] 3)中学校の社会見学でMRJ試乗[6] 4)見学申し込みのハードルを下げる。申し込みのきっかけと媒体を増やす[4] 5)工場見学(実際にプラモデルなどを使用し、飛行機ができるまでを学ぶ)[2]	25
1)MR J教室(見学コーナー、プログラミング教室)[8] 2)航空機の専門学校(高・大)を新設する。[6]	20

3) 航空教室 [3]	
4) 子ども対象の航空に関する体験ツアーなどの催し [3]	
1) サイエンスナーレエアミュージアム (野外) [7]	19
2) 子ども達がいろいろな体験ができるイベントを一日会場を設けて行う。 [6]	
3) 紙ヒコーキ等の制作体験教室。祭りなどでの大会 [6]	
1) 小中学校に講師をよんで、航空に興味を持ってもらう [4]	17
2) 学校での特別授業 (三菱の方を招いての講義) [4]	
3) 小学校の授業で飛行機の飛ぶ仕組み等を教える。 [3]	
4) (ハードではなく) ヒューマンの面から関心を持てるようにする。 [3]	
5) 小・中学校での授業 [2]	
6) 航空機などをテーマにした高次的・発展的な内容の出前授業 [1]	
1) 子ども達が気軽に豊山へ来られる体制 (交通) をつくる。	13
1) 豊山チャンネルで定期的に MR J の情報を流してもらう。	5
1) グッズ・PR (MR J とのコラボ商品 [プラモ、ぬいぐるみ、MR J まんじゅう])	4
1) 3 世代で楽しめる町 (飛行機に見える町)	4

昼休み (50 分)

※【第1回討議】のグループで昼食を取って下さい。席替えは【第2回討議】前にします。

12:50 までには席にお戻り下さい。

席替え (10 分)

【第2回討議】スポーツで元気になる子ども達

13:00

ステップ3 : 【スポーツで元気になる子ども達】について考えましょう

- 20分 ・ [情報提供] : 「特定非営利活動法人ジュニア・ベースボール・サポート 豊山」の方から活動の概要と今後の夢について話して頂きます。
- 45分 ・ [討議] : スポーツを通して地域で子どもを育てるという視点から、ご自身の経験や情報提供者のお話をヒントに3つのプロジェクト提案を考えて下さい。JBSさんと連携した提案をできれば一つは入れてください。
- 25分 ・ [発表] : 各グループの提案を1グループ2~3分で発表してもらいます。
個人でシール投票してもらいます。(一人5票)

休憩 (15 分)

※席替のくじ引きをします。

【第2回討議】スポーツで元気になる子ども達の結果

提案プロジェクトの項目[個別の票数]	類似票数
1)小中一貫部活[1 5] 2)小学校対抗戦運動会(3校)[1 1] 3)小学校3校でドッジボールやサッカーなどの交流をする。[5] 4)小中学校でやれる部活動を増やす。[3]	3 4
1)町民交流 大人 VS 子供[9] 2)小中学生と地元の方との交流の場づくり[6] 3)男女や年齢にとられないスポーツ [6] 4)室内プールを作るなどして、大人も子どもも参加出来るようにする。[4] 5)ごほうびスポーツ大会[3] 6)大人と子どもと一緒にできる施設をつくる。[2] 7)過去の自分、未来の自分への手紙[2]	3 2
1)企業選手による指導[1 1] 2)他の地域のクラブチームとの交流(モチベーションを上げるため)[7] 3)学内でクラブチームの方と交流(ジュニアチーム作りとそのサポート)[5]	2 3
1)豊山町で行っているスポーツのイベントや大会に気軽に参加出来るようにする。 体験入門的な感じ。[1 3] 2)活動や団体に参加しやすいようにする。[3]	1 6
1)スポーツクラブの親の負担をへらす。[7] 2)小中学校や公園などスポーツをする環境を整える。[4] 3)スポーツができるよう設備を整え、資金面を援助する。[2]	1 3
1)地域の子ども会を通じて親子でふれあえる環境をつくる。(ふれあい広場)[4] 2)多様なスポーツを紹介する機能[3] 3)野球以外のスポーツの活動内容が不明[3] 4)子ども会で色々なスポーツを体験してもらう。[2]	1 2
1)JBS豊山についての情報不足[4] 2)イチロー杯のPR活動(TVや雑誌を使ってアピールする)[2]	6
1)エアポート ビュー マラソン(日程を名古屋マラソンと被らないように調整)	5

【第3回討議】「ゆるキャラ®for チルドレン2015」で元気になる子ども達

14:45

ステップ4:【「ゆるキャラ®for チルドレン2015」で元気になる子ども達】

について考えましょう

- 20分 ・[情報提供]:「地空人くん」の活動実績と「ゆるキャラ®for チルドレン2015」に対する想いについて話して頂きます。
- 45分 ・[討議]:「ゆるキャラ®for チルドレン2015」に応募することを前提に「地空人くん」のこれからの活動提案を3つ考えて下さい。

25分 ・[発表]:各グループの提案を1グループ2～3分で発表してもらいます。
個人でシール投票してもらいます。(一人5票)

【第3回討議】「ゆるキャラ @for チルドレン2015」で元気になる子ども達の結果

提案プロジェクトの項目[個別の票数]	類似票数
1)「地空人」の名前がやかたいたのでアダ名を付けると親しみ安い。・・・ 例えば「チックゥー」とか[19] 2)キャラを変える。(扇を大きく、かけ声で福を招く。しゃべれ)[6] 3)オリジナリティのある芸を身につけて有名になる。[4] 4)地空人くんの歌や決めポーズを作り、印象を強くする。[2] 5)2～3体作る。[1] 6)笑いのアクションがとれるとよい。なじみやすい、例えば、 鼻が伸びたり、大きくなったり・・・[0]	32
1)登下校見守りキャンペーン(交通事故0の日)[7] 2)地空人くんの防犯パトロール、子どもの見守り[6] 3)防犯パトロール等実際に参加し、子どもたちに馴染んでもらう。[5] 4)小、中、園等の防犯交通教室等に参加してPRする。[4] 5)不定期に町内を歩く。 (防犯パトロール、学校帰り、子どもにはピンバッチをプレゼント)[3]	25
1)子どもの悩み相談、回答はユニークに。(ツイッター、フェイスブック)[17] 2)学校や地域で教育を(「私たちの豊山町」など・・・)[4] 3)交通安全のビデオに地空人くんを登場させる。[2] 4)交通安全教室への参加[2]	25
1)エアポート、空港等で町外の人にもアピール。対話をする地空人くん。[6] 2)地空人くんの活動を増やす。(学校行事、バスの塗装など)[5] 3)出場回数を増やす。(各種イベントに参加)[4] 4)町行事に全参加[4] 5)とよやまチャンネルなどのメディア露出を高める。[3] 6)たくさんの人と触れ合う。(保育園や幼稚園を訪問)[2]	24
1)地空人に豊山音頭を現代風にして踊ってもらう。 (保育園、ユーチューブでPR)[10] 2)地空人くんのテーマソング&踊りを作って、 園や小学校で子どもたちと一緒に踊って広める。[9]	19
1)グッズの作成(防犯ブザー)[6] 2)ぬいぐるみ、防犯グッズ等のグッズを作る。[5] 3)地空人くんマーク(お守り)の配布(内部・外部への印象づけ)[4] 4)地空人くんのグッズをつくる。 ⇒エアポートウォークなどでコーナーを借りて、簡単なクイズなどで楽しんでもらう。(グッズプレゼント)[1]	16

16:15

ステップ5：まとめとアンケート

- 10分 ・事務局より次回の確認など
- 5分 ・簡単なアンケートをお願いします。

8月2日【第2日目】 豊山町の地方版総合戦略のアクションプランを考える

10:00

ステップ1：はじめに

- 5分 ・本日の流れを確認します。
- 10分 ・第1日目の結果について簡単におさらいします。

【第4回討議】ワールド・カフェ方式で行います

10:15

ステップ2：3つの討議テーマの中から関心のあるテーマのテーブルについてワールド
・カフェを始めます

※前日のテーマ毎に3つのテーブルを用意しました。関心のあるテーブルに移動してください。テーマによる人数が偏る場合はテーブルの数で調整します。

【第1ラウンド】

- 30分 ・昨日の3回の討議で提案されたプロジェクトの中から豊山町の魅力発信につながる企画として面白いと思うプロジェクトを1つ選んで下さい。その理由をピンクのポストイットに書き出して下さい。

※移動のルールとして同じテーブルにいた人とは一緒にならないようにテーブルを移動して下さい。

【第2ラウンド】

- 25分 ・テーブルの中の一人をホストとして残して、他の人は自由にテーブルを移動してください。移動したテーブルでホストの人は、新しく訪れた旅人にこのテーブルで何が話し合われたかを簡単に説明してください。
- ・今度は、プロジェクト提案を実現するための課題や問題点を想像して、黄色のポストイットに書き出して下さい。

※移動のルールとして同じテーブルにいた人とは一緒にならないようにテーブルを移動して下さい。

【第3ラウンド】

- 25分 ・再度、テーブルの中の一人をホストとして残して、他の人はテーブルを再度自由に移動してください。移動したテーブルでホストの人は何が話し合われたかを簡単に説明してください。
- ・今度は、黄色のポストイットに書かれた問題点を解決したり、新たな魅力をつけ加えるような提案をブルーのポストイット書き出して下さい。

【第4ラウンド】

- 25分 ・はじめのテーブルに戻ります。ホスト役の人はそのテーブルで何が話し合われたのかを簡単に説明してください。残されたポストイットの内容を確認しながら他のテーブルで話し合われたことも思い出し、豊山町総合戦略で実現すべきプロジェクトの概要を再確認して下さい。この段階でプロジェクト内容を変更してもかまいません。

【1グループ】

最初の題名	MRJを活かすまちづくり
【第1ラウンド】	<ul style="list-style-type: none">・MRJ教室（紙ヒコーキ：子ども）・MRJを活かした教育のきっかけ・施設を活かし連動させる。・現実的に考えたい。
【第2ラウンド】	<ul style="list-style-type: none">・交通はどうするの？
【第3ラウンド】	<ul style="list-style-type: none">・町内をターゲットにする。
【第4ラウンド】	MRJ委員会の発足

【2グループ】

最初の題名	サイエンスナーレ エア ミュージアム
【第1ラウンド】	<ul style="list-style-type: none">・実現性が高く、オリンピックのような（4年に一度）イメージで町全体が活気に溢れると思ったから。空いている土地を利用できると思う。・町内を広く巻き込むことができる。・町全体を利用することで豊山町のPRになる。楽しそう。・大きな施設が不要なので費用がかからない。・お金がかからないようにする。・実現可能性
【第2ラウンド】	<ul style="list-style-type: none">・町内、町外へのアピールの仕方。テレビ局にアピール・目玉になるものを一つ考える。・防犯・交通の確保、駐車場。・情報の確保・名前がわかりづらい
【第3ラウンド】	<ul style="list-style-type: none">・最初は小規模で・シャトルバスの運行（無料）・大学との協力・三菱の協力・ボランティアのパトロール・レンタサイクル
【第4ラウンド】	航空科学の祭典『とよやま丸ごとミュージアム』

【3グループ】

最初の題名	航空館boon等の活用
【第1ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・三菱OB、専門家の常駐 ・5年計画というスパンと予算の面から ・ボランティアの方の活用 ・boon、三菱、博物館。この3つでMRJを理解でき興味を持ってもらう。
【第2ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では半日も過ごせない。 ・何度も行きたくなるものが必要。 ・情報不足（boon 自体の情報、boon、三菱、博物館、お互いの情報の連携） ・駐車場が少ない。 ・同じものだから飽きる。（変化がない）
【第3ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・神明公園に行くにしても道幅が狭いので調整する。 ・屋内で遊べる遊具を入れる。 ・工作教室（体験コーナー）予算があればコックピット等のシミュレーター ・常駐人員の確保（現状はボランティア） ・boon、三菱、博物館のツアー ・月替わりで展示物を替える。 ・写真を撮りやすいようにする。 ・boon が神明公園のついでで作られている感じなので、boon として存在価値を高める。 ・お土産（限定もの、地空人くんを呼ぶ）、販促ノベルティ（印刷物で） ・boon 内に足湯を入れたらどうか。（足湯の中に飛行機型のおもちゃを浮かべとく。※販売もしている）
【第4ラウンド】	航空館boon改造計画

【4グループ】

最初の題名	企業や小中学校等、町全体が連携した、「航空教室」の実施
【第1ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の必要性 PRの難しさ⇒教育の現場 体験できる場所（MRJ、boon など）
【第2ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・広報豊山の活用は？ 学校新聞 お金の問題⇒広告費、余裕ある？ ・広報の不足⇒メディア媒体の限界 興味を持ってもらえるか？ 園児たちへの支援は？ ・企業と町政との距離感 具体性 子どもたちの興味（0を1にする方法） ・0を1にする工夫⇒人気のキャラクター ⇒紙ヒコーキ、フライトシミュレーター ・興味を深める。興味を持ってもらう課題


<p>【第3ラウンド】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の活用 広報豊山の活用⇒豊山チャンネルでは弱い。 町民全体に知ってもらう。 ポスター 大人でも参加 ・体験型の提案 人の手による説明 実際に乗せてみる。(コックピット) 見る、触れる。 シミュレーションの活用 ・資料館の活用⇒航空機の歴史 ナマの話が聞ける。⇒人によっては効果↑ イベントの活用 ・企業、環境、町政、町民 の調和
<p>【第4ラウンド】</p>	<p style="text-align: center;">町全体が連携した「航空教室」の実施 企業・行政・町民・環境の調和したまちづくり</p>

【5グループ】

最初の題名	新種目を取り入れてもらう
<p>【第1ラウンド】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在ある部活（野球、バレーボール、バスケット、テニス、サッカー、卓球） ・子どもたちに色々なスポーツを体験してもらいたい。 ・無いクラブ（水泳、陸上、剣道）
<p>【第2ラウンド】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場所がない ・指導者がいない
<p>【第3ラウンド】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小2の子がPCでゲームをやって満足している。 ・新しくできる（S字ゲーム、ケン玉、四角のボール） 思考力（発想力） ・JRC、陸上での強化、選手が今現在もいる。
<p>【第4ラウンド】</p>	<p>小学校の授業の時間割に取り入れる（いろんなスポーツ）</p>

【6グループ】

最初の題名	豊山見守りプロジェクトwithチクン チクン（地空人くん）と豊山見守り隊
<p>【第1ラウンド】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PR効果（数の多さ） ・一体感 ・統一感（町全体の） ・親しみやすさ ・グッズや活動につなげやすい。
<p>【第2ラウンド】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊山町に入るエリアにマークやアイコン（外部）

	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが進んで班長になるのでは？⇒ 
【第3ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・ チックンがイチローポーズ⇒チックンのアクションを統一する。 ・ あくまで大会はこのプロジェクトの延長上にあるもの ・ “チックウ” などのなき声？
【第4ラウンド】	豊山チックン見守りプロジェクト

【7グループ】

最初の題名	地空人の防犯キャンペーン（知名度）
【第1ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知名度を上げるために町内から ・ 地空人の紹介動画のアップ ・ テレビ、雑誌などへの露出（新聞）
【第2ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地空人くん登場に1日5～6万円かかる。⇒付け人ボランティアの募集 ・ 着ぐるみの改良 ・ 年間スケジュールを作る。（現在年間40回、汚れる場所は×） ・ いたる所にマーク、等身大を設置する。 ・ イベントの差別化 ・ 他の3つのゆるキャラとの調整
【第3ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業から募る（お金） ・ 年間スケジュールを町民のみんなに知らせる。 ・ 2体、3体作って（誰でも入れる人形） ・ 児童館などの施設への設置 ・ 地空人の負担を軽くするために他のキャラにも参加してもらおう。 ・ エアポートウォークのイベントホールでMR J とのコラボ、3つのゆるキャラとコラボ ・ ツイッター、動画サイトなど多く活用して予算・負担を削減
【第4ラウンド】	地空人の防犯キャンペーン

【8グループ】

最初の題名	地空人のキャラを変える（アピール）
【第1ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動きが少なく特徴がない。 ・ インパクトが弱い。 ・ 動きを大きく。 ・ 印象が薄い。動き、声、しぐさ等、インパクトが必要 ・ 遠くから扇がもっと見えるような軽くて大きなものにする。

【第2ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラは変えられないから愛称「チックウくん」とする。 ・キャラを変えるのは難しいと思うが、ニックネームを付けてはどうか？ ・着ぐるみを変更しないと動けないのでは？ ・振り付けをプロの振付家に頼む。 ・遠くから扇が見えるよう大きな物にする。 ・「地空人」の動きをプロの方をお願いしてみる。 ・広報する目的をはっきりとPRする必要。 ・何を目的に「地空人」キャラを作ったかわからない。 ・豊山キャラとして商工会と町のキャラを統一した方がよい。アピールしやすい。
【第3ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・愛称の名札を胸に付ける。 ・決めポーズを作る。テーマソング（BGM）を決めて毎回流す。 ・扇が風船のような物で大きくなるようにする。 ・防犯、交通安全に特化。PRは他のキャラにまかせる。
【第4ラウンド】	<p>テングのところを飛行機に変え、2～3体増やして、活動を広げる。（エアポートウォーク、イベント、学校行事等、人目にふれる回数を増やす）</p>

【9グループ】

最初の題名	誰もが参加しやすいスポーツクラブ
【第1ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯、日時を幅広く。 ・色々な年齢の人がスポーツを通してリフレッシュができるように。 ・各スポーツクラブの教室をもっと開催して、参加する機会をもっと多くしてほしい。 ・指導者がほしい。（ボランティア的に動いてくれる方）
【第2ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・そのスポーツが競技なのか？リフレッシュなのか？ ・道具の貸し出しは？ ・時間帯、日時の問題 ・指導者の問題（ボランティア？町から援助） ・スポーツ種類の数の問題 ・会場の問題「供用施策の利用」確保？
【第3ラウンド】	<ul style="list-style-type: none"> ・体協＋個人＋町の広報に活動内容をPRしたらよい。書面にて ・3月に各団体が1年間活動計画を発表し、広報で配る。⇒病院や役場、お店、児童館等に置く。 ・スポーツの勧誘の場を設ける。アピール（イベント、お祭り、町民運動会） ・各スポーツの紹介と体験 ・「ふれあい広場」の活用＝体感してみる。
【第4ラウンド】	<p>誰もが参加しやすい多目的スポーツクラブの紹介とPR</p>

昼食（60分）

【第5回討議】実現可能なアクションプランを考える

13:00

ステップ3：アクションプランのヒントを事例から学ぶ [情報提供]

- 20分 ・豊山町の魅力発信・PR戦略を考えるためのヒントになりそうなユニークな全国事例を紹介します。

13:20

ステップ4：具体的なアクションプランをつくろう [討議]

- 50分 ・これから5年間のアクションプランをグループで考えて【アクションプラン提案シート】を完成させて下さい。

14:10

ステップ5：グループの話し合いの結果を全体場で発表してもらいます [発表]

- 30分 ・テーマ毎に提案シートの中身を1グループ3分程度で発表します。
10分 ・個人の考えで全体の項目の中から共感できる提案をシール投票で評価します。(1人3票)

【1グループ】

プロジェクト名：MRJ委員会の発足（MRJ教室）		
票数： 9	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度		・委員会づくりの提案
平成28年度		・町を主体に三菱さんと住民三者で
平成29年度	・MRJ委員会に協力	
平成30年度	・MRJ教室の実施（紙ヒコーキ大会）	・施設を活かし連動させる
平成31年度		・観光課の設置
成果を測る指標の提案	・MRJ教室の開催数、動員数	

【2グループ】

プロジェクト名：とよやま丸ごとミュージアム『航空科学の祭典』		
票数： 24	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	・トリエンナーレ等の研修	・実行委員会たち上げ、企画の広報

平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会、参加者の誘致、募集 ・日時の設定 ・三菱の委員会参加
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・場所、企画の選定
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催（シルバーウィーク）
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・次回への準備
成果を測る 指標の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間で2万人の目標

【3グループ】

プロジェクト名：航空館boon改造計画		
票数：15	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の市場調査 (アンケート：何があったらいいかなど) ・神明公園マルシェ (フリーマーケット) ・内装のデザイン変更案の公募 (殺風景) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便、道路の整備 ・アンケートに答えると特典
平成28年度		<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時のタウンバスの臨時運行
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニチュア (プラレールの飛行機版) 	<ul style="list-style-type: none"> ・boonをメインタワーに (もう少し階数を上げる、アピタぐらい) ・ゲームセンター (飛行機のメダルとか) ・MRJ ロゴ入りキャップやクリアファイル、景品
平成30年度		
平成31年度		
成果を測る 指標の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の満足度アップ ・来館者数の倍増 	

【4グループ】

プロジェクト名：町全体が連携した「航空教室」の実施 企業・行政・町民・環境の調和したまちづくり		
票数：18	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの能力に見合った教育と訓練の推進 広報、豊山チャンネルなどを使う。カタログ、もしくはチラシを作って病院や郵便局などにおいてもらう。 「航空教室」実施への協力。企業のエンジニア等の講義。親の認知、理解、相互コミュニケーションで親子ともに学習 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生を対象とした「航空教室」の開始→総合学習、校外学習に組み入れる。三菱などの企業の協力も不可欠。 今後 MRJ デビュー時に広報とよやま等に大きく取り上げる。
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> こどもの自発性をとりこんだ話し合い、会話 	<ul style="list-style-type: none"> シミュレーター等の体験型施設（設備）の設置。 自衛隊の航空祭にコラボして MRJ 教室を支援する。
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 祭り等で「航空クイズ大会（〇×式）」開催 模型飛行機等の住民参加型サークルの立ち上げ 「環境と航空産業が調和したまちづくり」大会を開き認識を一致させる。 「航空教室」の拡張、教養施設など民間での主催。対象を大人にまで拡張、より多くの人に「航空機のまち豊山」を認知してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園などでもどんどん紹介していく。
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> MRJ 名古屋空港の住民開放日開催 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の課外授業に「空を学ぶ」授業を行う。 町政と企業の融和、航空機産業を学校の授業にも取り入れる。豊山の科学技術を子どもたちに誇りに感じてもらえるように
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> MRJ 豊山町認定の航空ソムリエの認定 豊山式航空検定の実施 弁論大会（小・中・高・社会人）科学、技術とともに歩む 小中学校、民間での「航空教室」の定期的、恒常的な実施 	
成果を測る指標の提案	<ul style="list-style-type: none"> 非公式の検定（合格者数、参加者数）町民の意識が見える。 「航空教室」の実施頻度、回数を増やすだけではダメ。定期的に行っていること、町民に浸透していることがそれ以上に大事。 	

【5グループ】

プロジェクト名：小学校の授業の時間割に取り入れる（色々なスポーツ）		
票数： 4	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	・小学校に交渉する。（3年生から）	・教育委員会に手伝ってもらおうようにする！！
平成28年度	・28年にはスポーツに関する授業に取り組む。 ・水泳、陸上、剣道 ・みんなが楽しくできるスポーツを増やす。	
平成29年度	・オリンピックに出られるような選手を育てる。 ・大会とかに出させる。	
平成30年度	・選考会を行う。	
平成31年度	・選手強化	
成果を測る指標の提案	・大会の成績	

【6グループ】

プロジェクト名：豊山★チクン安全見守りプロジェクト		
票数： 21	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	・チクンステッカーを使ってもらう。 やっでのうちわ（旗）導入、配布 ・既存の交通安全マップ&アンケートの見直し	・ステッカー等グッズの製作&配布。目的、利用の認知 ・アンケート配布 ・交通安全0の日にチクンが登下校でお手伝い ・27年度中にチクンのキャラ、アクションの見直し、確定
平成28年度	・企業の交通安全担当に住民の要望を聞いてもらう。	
平成29年度	・防犯カメラの認知度を上げる。 （チクンのマーク etc.） ・こどもと車の交通事故&こども（自転車）と人の交通事故のしるし ・保育園、幼稚園での交通安全教室の実施 ・豊山町独自の交通マニュアルの導入（28年度）	
平成30年度		・31年度に向けて器

		材の見直し
平成31年度	・防犯カメラ等、新しい導入器材	
成果を測る 指標の提案	・愛知県内での交通事故数が一番少ない町にする。 ・1件あたりの重度を下げる。	

【7グループ】

プロジェクト名：地空人の防犯キャンペーン		
票数：14	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	・地空人とは何か、豊山町民に知ってもらおう。	・各家庭に防犯シールの配布 ・年間スケジュールの作成 ・地空人の紹介動画の作成
平成28年度	・町民一人一人に防犯の意識を持ってもらう。	・交番や派出所に看板を設置 ・ツイッター、ユーチューブで活動実績を報告
平成29年度	・パトロール活動	・地空人やボランティアの人と一緒に町内をパトロール
平成30年度	・交通安全教室、防犯教室への参加	・小中学校の交通安全、防犯教室に参加してもらう。
平成31年度	・イベントの参加回数を増やす。	・地空人の防犯実演動画の作成 ・地空人2～3体作成
成果を測る 指標の提案	・地空人と一緒に防犯について考える。	

【8グループ】

プロジェクト名：地空人のキャラの変更とPRの方法		
票数：10	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	・扇や羽のデザインをアンケート等で提案する。 ・羽をもう少し大きく変更、羽を動かす。 ・話せるようにする。(重要)	・天狗を飛行機のデザインに変更、機体のどこかにMRJのロゴを入れる。
平成28年度	・動きを大きく、決めポーズ、BGM等を決める。	・決めポーズ、BGM
平成29年度	・豊山町の外に地空人くんが出て豊山町をPRする。 ・タウンバスに乗って栄まで行って名古屋の人にも大きくPRする。 ・子どもたちに会う機会を増やし、学校行事	・次年度からのストーリー設定(家族構成等アンケート募集する)

	<ul style="list-style-type: none"> に積極的に参加する。 ・空港のチケットカウンターに立ち子どもたちに握手したりする。(県外にアピール) 	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地空人に嫁さん、こどもが加わる。 	
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・家族での活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民に考えてもらっても良い。
成果を測る指標の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの露出の度合い。(ケーブルのぞく) 	

【9グループ】

プロジェクト名：誰もが参加しやすい多目的スポーツクラブの紹介とPR		
票数：23	町民のアクションプラン	役所の役割
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・体協関係と個人の健康づくりプラン(軽スポーツ)を町に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容を広報にて紹介する。 ・町の目のつきやすいところ(園、小、中、病院、お店)に掲示して頂く。
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して「スポーツフェスティバル」を開催し、色々なスポーツを体感する場を作る。 ・指導者の育成(大切) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツフェスティバル」の場所と日時を計画し、町民に発信してもらう。
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の元でクラブ活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体協との協力をお願いする
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域との交流や大会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の拡大と広場を増やす。
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点の改善 	
成果を測る指標の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ人口の推移(年齢別に把握する) 	

休憩(10分)

15:00

ステップ6：個人アンケートをお願いします

15分 ・町民討議会議に関する個人アンケートにお答え下さい。

【第6回討議】旗揚げアンケートでお聞きします

15:15

ステップ7：今回の町民討議会議の評価と今後のあり方について旗揚げアンケートで

考えます [討議]

60分 ・評価と今後のあり方に関する5問程度の旗揚げアンケートをしながら全体で話し合います。

【設問1】町民討議会議が以前から行われていたことを知っていましたか？

① よく知っていた（今まで案内をもらったことや参加した人から話を聞いたことがある）。	14
② 開催されたことは知っていた（町の広報の告知やケーブルテレビを見たことがある）。	5
③ 今までほとんど知らなかった。	24
④ その他	0

【設問2】今回の町民討議会議のテーマについてお聞きします

① 期待したとおりのテーマで、興味を持って討議できた。	6
② テーマに対する期待は持っていなかったが、結果的には興味を持って討議できた。	35
③ 期待するテーマとは異なっていたので、興味を持って討議に参加することができなかった。	1
④ その他	1

参加者1－①、②、③のどれにも該当しなかったので④を挙げた。豊山町の魅力発信ということだったが、家が八所神社の近くなので神楽とか、ドジョウ寿司なども取り入れた議題になるのかと期待してきた。期待とは異なっていたが、なんだかんだいって結果的には楽しめたので④を選んだ。

【設問3】町民討議会議参加してみての印象をお聞きします（複数回答可）

① 普段話したことがないいろいろな人と話すことができ良かった。今回知ることができた人との関係を今後につなげていきたい。	30
② 行政に対して直接町民の考えをぶつけることができ意味があると思った。自分自身の町政に対する関心が高まった。	19
③ 今回話し合ったことがどの程度活かされるのかわからないので、町民討議会議をどのように評価して良いかわからない。	21
④ その他	0

【設問4】これまで5回開催した町民討議会議の効果についてお聞きします

① 多くの町民が町民討議会議の事を知るようになり、町政への関心が高まる効果はあったと思う。	1
② 多くの町民が知るようになったとは思いますが、町民の町政に対する関心が高まったとは思わない。	5
③ 多くの町民が知るようになったとは思わないが、参加した町民の町政に対する関心は高まったと思う。	36
④ その他	2

参加者1－質問そのものが町政という大きなものに対する質問だったので答えられなかった。今回のテーマに対する関心であったらはっきり答えられたと思う。

参加者2－会議自体のテーマが広報とよやまにのっていなかったように思うが、町政全般に関わるテーマかと思ってきたが、全体としては少数の子どもに関わる問題に限定されていたので期待と違った。もっと重要な MRJ によって引き起こされる交通問題などのテーマを行政だけで考えるのではなく、町民に議論させるべきだ。

参加者2－参加者の年代を見ると税金を納めているような働き盛りの人が少ないような気がする。無作為とは言え参加者の年代のバランスをとらなければ意見に偏りが出るのではないか。

【設問5】町民討議会議の今後のあり方についてお聞きします

① 町のことをみんなでじっくり話すことは大切なことである。これからも町民討議会議を続けてほしい。	16
② これまでの5年間の成果を検証して今後継続すべきかどうかを検討してほしい。テーマ設定や開催期間など工夫の余地はあると思う。	25
③ 開催するための時間と労力を考えると、他の方法を考えた方が良かった。	2
④ その他	1

参加者1－今日のテーマを話し合った人を集めて再度話し合う機会はないのか。これで終わりなのか。

参加者2－町民討議会議のような場はなかなかないので、自分としては継続してほしい。ただ、この結果がどう活かされるかに疑問がある。うちの高校でもこうした話し合いはあるが単に意見を吸い上げる場に終わっているのが現状である。豊山町にはそうしてほしい。いい意見が合ったので是非活かして欲しいし、取り組みを町民に広報してほしい。そうした対応がなされるならばこれからも続けてほしい。

参加者3－討議の内容を事前に案内して頂くことはできるのか？今回も事前に考えて参加できたらと思った。事前に討議内容の概要を出した方がいいと思う。

16:15

ステップ8：まとめ

- 5分
- ・総務部長よりお礼のあいさつ
 - ・事務局より連絡事項の確認